

知

知らなかつた名作

さいてたのしむ 日本の名作

解説にざつと目を通した

明治になつた折の作者の時代の变化が中心

のものが多い

しきもり 家のおもさを感じる 作家のになる

森あう外の舞姫」はエリヤとの恋が

古い伝説続にふしつふさふさのは 面白い

エリヤが一人で般でドイツへかゝつて

行く ちのちのちのちのかまじり

現在もそのよろなしきエリヤが細くあう

存在するのちきくことかあう

この名作の作者 ~~選~~ とても個性的 作家として

工順調に歩いて来たゆかでない

影を替る 自殺した人もい

坊のちやんし 書生は猫である と見ると

本トする ずばらしい普通人の作家で

安心する

当時の環境が個性的な作家をつくらせていたと

回心

